

第1回市立湖西病院経営強化プラン策定委員会における意見要約

開催日時：令和5年6月28日（水）13時30分～15時30分

会場：市立湖西病院2F 講堂

議題：市立湖西病院経営強化プランの内容について

【意見要約】

鈴木委員 ・企業経営という観点では、顧客のニーズを把握することが重要である。

・ポテンシャルのある患者さんが、病院に対してどういう不満を持っているか、それを分析すれば患者さんを増やせるのでは？

・職員が病院の方針に対してどんな不満を持っているかを把握することも必要。患者さんの不満、職員の不満を地道に把握し、それに基づいたプランを組めば、湖西病院らしい経営計画ができる。

・遠回りであっても、患者さん、市民のニーズを把握し、それに基づいた医療を提供するといった手順を踏むべきである。

猪井委員 ・地域の医療機関として、湖西病院が無くなっては困る。経営改善をしてぜひ存続してもらいたい。

・外国人が日本に来て最初に困ることは病院受診である。病院には通訳がいるが、最近ではフィリピンやベトナムなどポルトガル語以外の言語を話す外国人が増えてきている。

・この傾向はますます続くので、これらのニーズもプランに盛り込んでもらいたい。

竹内委員 ・2040年になると団塊ジュニアの世代が65歳になる時期。湖西市は、2020年を基準にしたとき、医療のトータルボリュームは増加していく。介護にいたってはかなりの勢いで増える。その需要に湖西市としてどう対応していくかが重要である。

・回復期リハは人的投資が多く。人件費率を押し上げるので、慎重に検討した方がよい。

・市内には、同様の機能を持つ浜名病院がある。浜名病院とのすみ分けをどう考えるか、関係機関とよく協議し決めることが大事である。

・最近、「コミュニティホスピタル」という名称が使う病院が増えている。湖西病院がコミュニティホスピタルとして目指す医療の特色は何なのか。その特色を明確に打ち出さないと埋もれてしま

うのではないか。

・医師少数スポットとして、研修医を受け入れるためには、キャリア形成プログラムが必要。湖西病院がどういう方向性を持って研修医を受け入れるのかを明確にすることが重要である。

木村委員 ・地域医療をどのように作るかということについては、人の連携が必要である。
・浜松医療センターや浜名病院との連携が進んでいるのは、各病院の院長の関係性が要因であると思う。

大杉委員 ・湖西病院の外来診療は頑張っているが、入院、健診はまだ伸びしろがある。
・改革をしようとする際、見えない院内の壁（風土・逆ベクトルの動き（負担が増えることはやらない））の対策が必要であり、断固たる決意で推進しなければ変えられない。
・「ビジョン」と「経営を良くすること」は、矛盾することもあるので、今はどちらなのか明確にして議論することが大切である。
・湖西病院が総合診療医にとって魅力的な病院になることが、医師の確保に繋がる。このタイミングで病院としての魅力を持てば、若い医師が集まり、強みになるのではないか。

内藤委員 ・高齢者の支援をしていると、「湖西病院に運ばれても、市外や県外の病院に入院にすることになった」、「入院させてもらえなかった」など、病院に対しての不満をよく耳にする。
・こうした不満を聞いていただきながら、プランの策定をお願いしたい。

榛名委員 ・入院患者を増やすには、常勤医師が増えていかないと難しいのでは？
・開業医と病院が連携して地域医療を支えるとき、病院から開業医にどんな要望があるのか。具体的に何かあれば教えてほしい。

板倉委員 ・地元で公立の大きな病院があることは、我々住民にとって非常にありがたく、心強い。絶対に無くならないような活動（経営）をお願いしたい。